

白川勝利で 四国から 野党連合政権の扉を開こう

日本共産党

衆議院比例四国・名簿登載予定

白川よう子



5月13日、秋山時貞県議らと香川大学、15日には、徳島文理大学志度キャンパスを訪問。それぞれ理事・副学長、総務部長、学生部長・准教授と懇談しました。



19日、市民連合@かがわの早朝宣伝で参加者が市民と野党が力を合わせ検察庁法改定法案を今国会で断念させたことやコロナ対策についてリレートーク。白川さんは、検察幹部の定年延長「特例」と、黒川氏の定年延長の撤回を求め、今後も野党で力を合わせて頑張り抜くことや、PCR 検査体制の拡充を求めることを話しました。

5月23日、地方議員を中心にした第2回経験交流会(10時～)が開かれ、秋山時貞香川県議が出演します。

四国4県の緊急事態宣言が解除されました。感染拡大防止と段階的な経済活動再開を両立させる最大のカギはPCR検査の抜本的強化にあり、これによって補償があいまいにされることであってはなりません。

各地で10万円の定額給付金や、持続化給付金などの申請が始まっています。みんなの声で勝ち取った給付金、党としても申請のご相談をお受けします。で、議員や党員などにお声掛けください。

新型コロナウイルス感染拡大の中、5人に1人の大學生が退学を検討しているという衝撃の調査結果が発表され、1人たりとも学ぶことを諦める学生をつくらない！との思いで、秋山時貞県議といっしょに香川県内の大学を訪問しています。

大学は学生支援策に真剣に取り組んでいます。

先日訪問した大学では、全学生に5万円の支援金を支給することを決めました。「2億5千万円必要ですが、預かった学生をきちんと育てるという気持ちでやっています」、「高等教育が失われることは国が潰れるということ。学生を失うことは知的財産が失われるということ」「こういう時は大胆な支援で困難を乗り越えることが必要」という言葉にこちらが励まされました。

国会では野党が共同で「学生支援法案」を提出していますが、学生が困窮する根本には高すぎる学費があります。①授業料の半額免除②最大20万円の緊急支援③奨学金の返済免除。力を合わせて実現したい。とりわけ大事なのが「学費を全国一律半額にする」事です。

よう子記